



令和3年度測量の日関連行事

地図パネル展（七尾市）

令和4年1月15日（土） ▶ 1月16日（日）

9:00～17:00

能登食祭市場
1Fモンレー広場
入場無料



主な内容

- 空中写真・地図で見る七尾市の移り変わり
- 防災に役立つ活断層図
- 地形を立体的に見られるガリバー地図

【主催】 国土地理院北陸地方測量部

〒930-0856 富山県富山市牛島新町11-7 富山合同庁舎5階 TEL 076-441-0888

6月3日は**測量の日**です

ひとりでも多くの方が地図に親しみ、測量の重要性について理解していただくため、「測量の日」関連の様々なイベントを全国で実施しています。この地図パネル展(七尾市)では、国土地理院の最近の活動を紹介したパネル、地図・空中写真で見る七尾市街地周辺の移り変わりなどのパネルを展示します。新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針に十分留意して実施します。

地図パネル展(七尾市)主な展示内容

知っていますか? 新たな地図記号

新たな地図記号
『自然災害伝承碑』



自然災害の被災地の中には、昔の被害を今に伝える石碑がある。それは、後世に二度と同じ思いをさせまいと残した、先人たちのメッセージ。この石碑を地図記号として地図化する等、市区町村と連携して災害教訓をわかり易く世の中に伝え、広げるための取組を行っています。



自然災害伝承碑

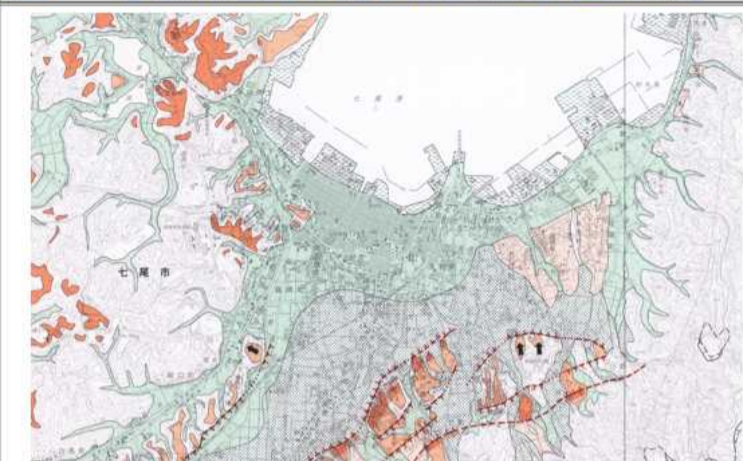
【地理院地図】(Web地図)における表示イメージ



・地形等により受けやすい災害がある
・災害は同様の場所で再び発生

【お問い合わせ先】
国土交通省 国土地理院 北陸地方測量部
〒076-441-0888 gsi-hr2pt_o@gxb.mlit.go.jp

地理院地図で見る活断層図「邑知潟」



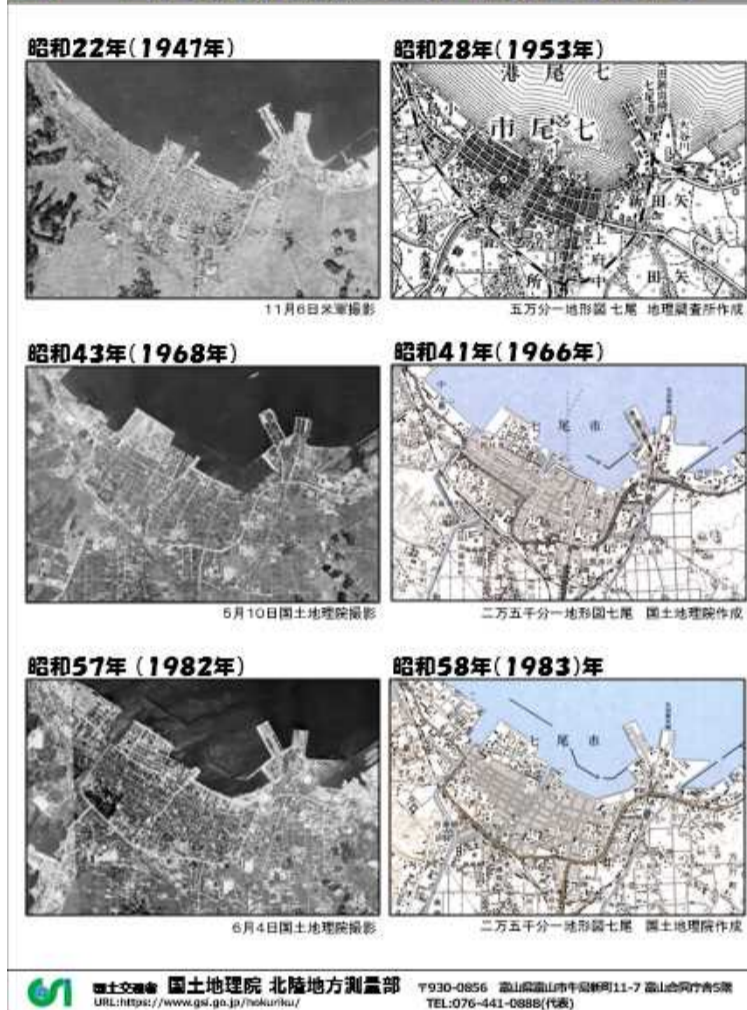
平成7(1995)年に発生した阪神・淡路大震災後、地震災害を引越20年活断層に関する情報の整備及び公開の必要性が高まったことに応えるため、国土地理院では大規模な被害が予想される都市域とその周辺について、活断層の位置を詳細に表示した2万5千分の1「都市圏活断層図」を平成7年より活断層の研究者の協力を得て作成しています。都市圏活断層図は、地震防災対策などの基礎資料として利用されています。「都市圏活断層図 邑知潟」平成22年に先行されていますが、現在は、「地理院地図」を使って見ることが出来ます。また、近年は、都市域に限らず全国の活断層を対象として整備を進めていることから、平成29年10月より名称を「1:25,000活断層図」に変更しました。

活断層図で表示している内容		活断層の種類について	
活断層の種類	活断層の位置	正断層	逆断層
活断層の名称	活断層の長さ	正断層	逆断層
活断層の活動性	活断層の向き	正断層	逆断層
活断層の活動性	活断層の向き	正断層	逆断層

活断層図の利用にあたっての注意
○活断層の活動性の可能性
活断層の活動性は過去の地質学的調査に基づき推定されたものであり、最新の調査結果に基づき変更される可能性があります。
○表示できない活断層
活断層が浅く、発生する地震の規模等は詳細には記載していません。

国土交通省 国土地理院 北陸地方測量部 〒930-0856 富山県富山市牛島町11-7 富山合同庁舎5階
TEL:076-441-0888(代表)

七尾市街地周辺の移り変わり(昭和)



国土交通省 国土地理院 北陸地方測量部 〒930-0856 富山県富山市牛島町11-7 富山合同庁舎5階
TEL:076-441-0888(代表)

七尾市周辺の典型地形 ~ 邑知潟地溝帯 ~



石川県の七尾市から羽咋市に至る能登半島中央部の低地帯は延長約25km、幅2km~4kmあり、北部の丘陵地形は、肩のり稜線から「肩山」と呼ばれています。また、南東部の山地地形は、宝達丘陵と呼ばれ、能登最高峰の宝達山(標高637m)や山岳信仰の修験霊場として知られる石動山(標高564m)があり、その稜線は富山県との分水嶺となっています。この両山系に挟まれた低地は「邑知潟地溝帯」と呼ばれ、両者の裾部に沿う断層の沈降・隆起作用によって生じた地溝帯地形の典型となっています。

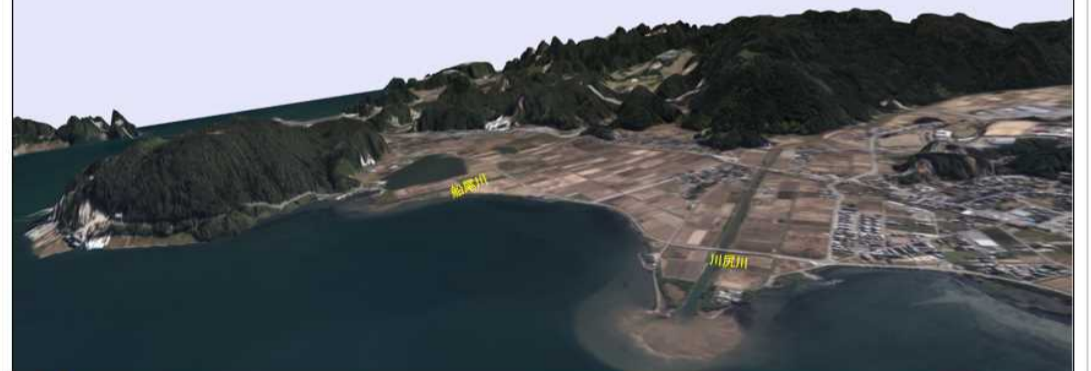


国土交通省 国土地理院 北陸地方測量部 URL:https://www.gsi.go.jp/hokuriku/ 〒930-0856 富山県富山市牛島町11-7 富山合同庁舎5階 電話:076-441-0888(代表)

七尾市周辺の典型地形 ~ 田鶴浜の三角州 ~



田鶴浜には、川尻川と船尾川の2本の河川があり、三角州を形成しています。この三角州は河口付近を頂点とした尖り状を形成していることから尖状三角州(カスプ状三角州)となっています。海や湖の作用が強く、河川による土砂の運搬が盛んな箇所では、このような河口付近を頂点とした尖状が形成されます。三角州の形態はいろいろな条件により、単純なデルタ状態ではなく、カスプ状三角州、円弧状三角州、鳥趾状三角州となります。



国土交通省 国土地理院 北陸地方測量部 URL:https://www.gsi.go.jp/hokuriku/ 〒930-0856 富山県富山市牛島町11-7 富山合同庁舎5階 電話:076-441-0888(代表)

令和元年度における地図パネル展(アオッサ)開催の様子

